資料12

報告案件（参考資料）

・大井川総合水系環境整備事業　1-1

・大井川水系流域委員会における審議結果　2-1

令和 8年 10月 27日

国土交通省　中部地方整備局

大井川総合水系環境整備事業

説明資料

令和 8年 10月 27日
国土交通省　中部地方整備局

目　　　次

１．流域の概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

２．事業の目的及び概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

３．計画内容と事業の投資効果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

４．評価の視点
（１）事業の必要性等に関する視点
　１）事業を巡る社会経済情勢等の変化　・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
　２）事業の進捗状況　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
（２）費用対効果分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
（３）事業の進捗の見込みの視点・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
（４）主たる施設の構造等に関する事業手法や事業計画、
　　　　　　　　　　コスト縮減や代替案立案等の改善の視点・・・ 10

５．県への意見聴取結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

６．対応方針（原案）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

（今回評価について）

今回、事業再評価を実施する理由

■前回の事業再評価の実施から5年が経過する事業であることから、事業再評価を実施する。

○「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領」第3の1（4）「再評価実施後一定期間が経過している事業」に該当

表　大井川総合水系環境整備事業の評価年度

項目	実施年度
新規事業採択時評価	平成２８年度
再評価	令和３年度
再評価 （今回）	令和８年度

流域委員会と事業評価監視委員会との関係について

■河川事業、ダム事業については、河川整備計画策定後、計画内容の点検のために学識経験者等から構成される委員会等が設置されている場合は、事業評価監視委員会　に代えて当該委員会で審議するものとする。

○「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領」第6の6「河川整備計画の点検の手続きによる場合の取扱」に該当

1. 流域の概要

【流域の概要】

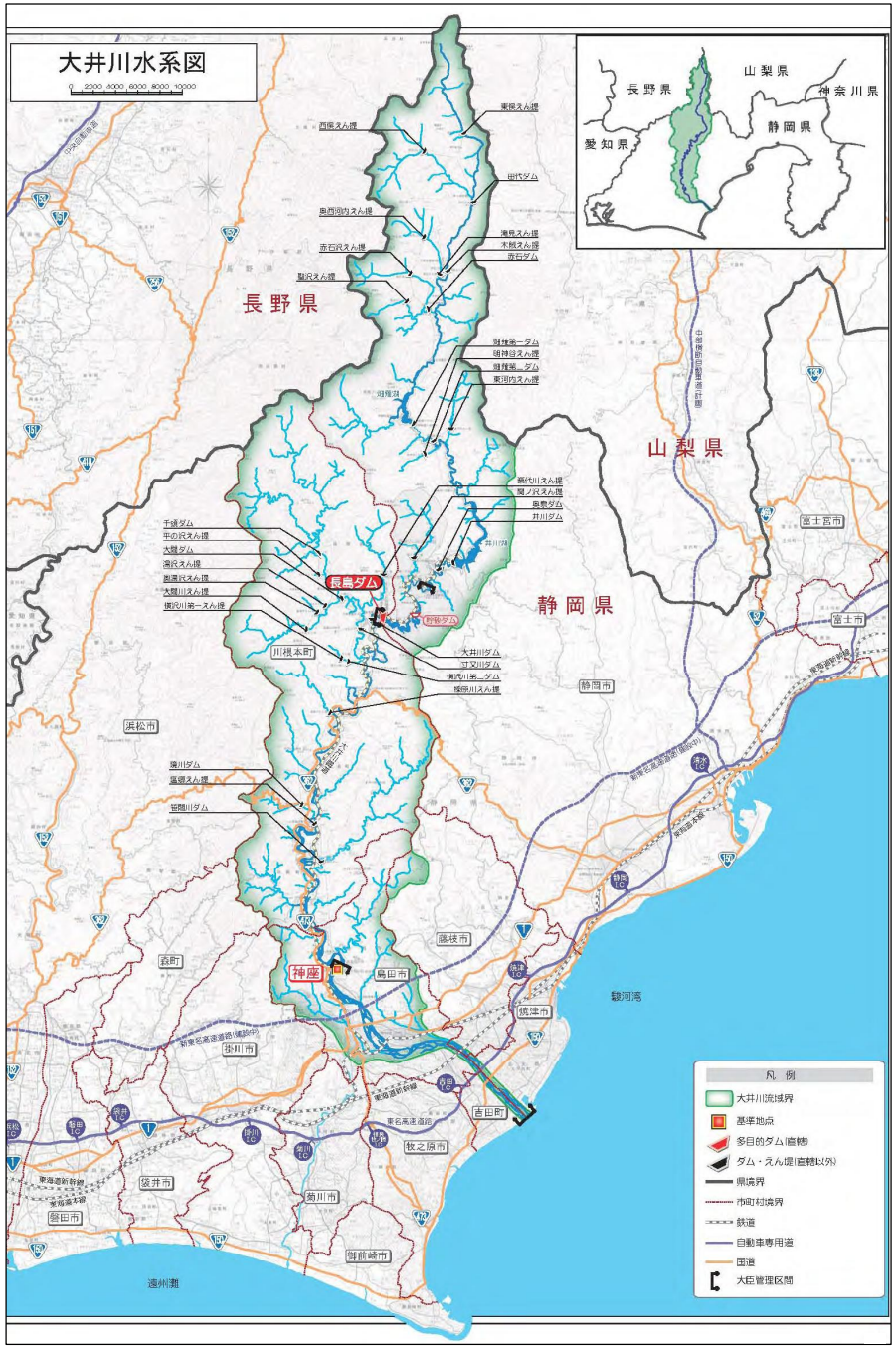
■大井川は、静岡県の中部に位置し、その源を静岡県、長野県、山梨県の3県境に位置する間ノ岳（標高3,189m）に発し、静岡県の中央部を南北に貫流しながら寸又川、笹間川等の支川を合わせ、島田市付近から広がる扇状地を抜け、その後、駿河湾に注ぐ、幹川流路延長168km、流域面積1,280km^{2}の一級河川である。

■源流から大井川ダム付近までの上流域は、南アルプス国立公園等に指定される豊かな自然環境を有し、大井川ダム付近から扇頂部付近までの中流部は、瀬や淵にアユ等の魚類や、河畔林が繁茂する砂礫河原にはキセキレイ等の鳥類が生息する。扇頂部付近から河口までの下流部は、複列砂州や網状の流路に砂礫河原が形成され、砂州や中州に河畔林が繁茂している。河口部は、アユをはじめ回遊性魚類の遡上経路となっており、希少な魚類も生息する。

■河川空間では、高水敷に緑地・スポーツ広場等が広く整備されており、地域住民等による利用も盛んである。

【大井川流域の諸元】

○流域面積　　：1,280km^2
○幹川流路延長　：168km
○大臣管理区間　：24.8km
○流域内市町村　：4市2町
（静岡市・島田市・藤枝市・焼津市・吉田町・川根本町）
○流域内人口　　：約9万人
○年平均降水量　：約2,400～3,000mm（上中流部）
約2,000mm（下流部）



流域概要図

2. 事業の目的及び概要

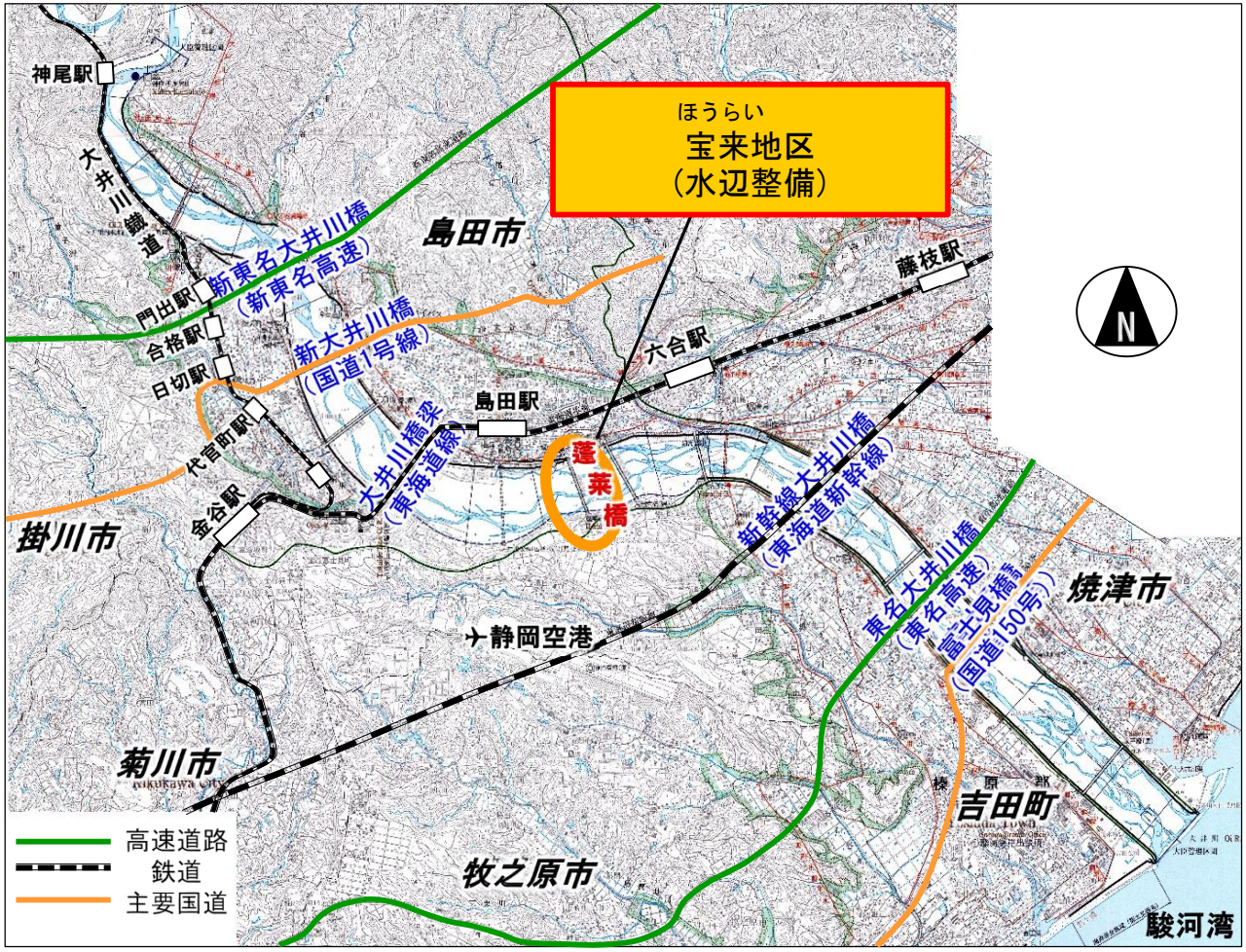
【事業の目的】

（水辺整備事業）
■観光名所である蓬莱橋を活用した島田市のまちづくりと一体的に、歴史や景観に配慮しながら「観光・交流」「にぎわい」「憩いの場」を創出する。

【事業の概要】

■事業区間：大井川(静岡県)
■事業期間：平成29年度～令和10年度
■全体事業費：約10.3億円
　【国】約7.0億円（工事諸費除く：約5.8億円）
　【市】約3.3億円
■整備内容：計1箇所
　【継続】水辺整備 1箇所

実施箇所	内容	期間
宝来地区 （水辺整備）	高水敷整正 坂路 階段 緩傾斜堤防 親水護岸 管理用通路 番小屋･物販所･ 休憩場所･トイレ整備（島田市） 駐車場（島田市） 案内板・サイン（島田市） 高水敷・散策路整備（島田市） 広場（張芝）（島田市） 遊歩道（島田市） 碑の移設等（島田市）	H29-R10



（これまでの経緯と今回の評価等について）

年度	事業評価	大井川総合水系環境整備事業 宝来地区（水辺整備）
H27		左岸側整備
H28	新規事業採択時評価	新規事業採択時評価
H29		設計・工事
H30		
R1		
R2		右岸側整備
R3	再評価	再評価
R4		モニタリング
R5		
R6		
R7		
R8	再評価	今回評価（再評価）
R9		モニタリング
R10		
R11	事後評価 （事業完了後5年以内）	
R12		
R13		
R14		
R15		

3. 計画内容と事業の投資効果

再評価

整備の必要性

＜**背景**＞大井川に架かる蓬莱橋（世界最長の木造歩道橋：897.4m）は観光名所として多くの観光客が訪れているが、観光客の受け入れ環境が不十分で、地域の活性化につながっていなかった。また、地域の憩いの場ともなっていたが、既存施設の老朽化が進み、改善が求められていた。

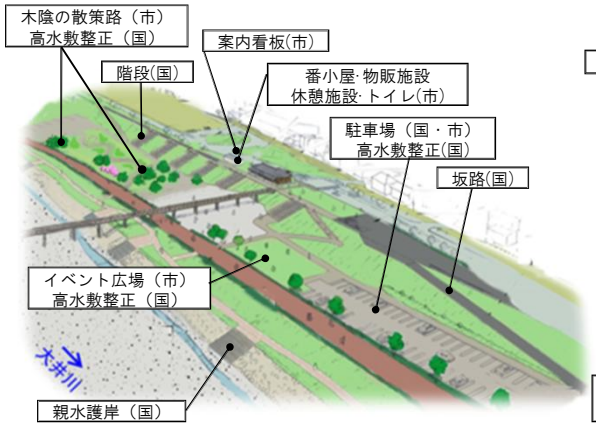
＜**課題**＞

・利便施設の不足により一時的な立寄り場所・通過地点となっている
・イベント等で活用するためのオープンスペースが不足
・河川敷へ降りる階段やスロープの傾斜が急であり、安全性の向上が必要
・蓬莱橋を渡った先（右岸側）に施設が少なく利用しづらい　など

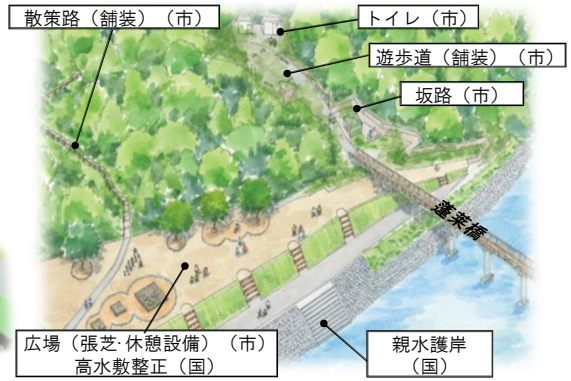
＜**対策**＞「宝来地区かわまちづくり計画」および「蓬莱橋右岸かわまちづくり計画」との整合を図り、歴史的景観の保全と調和に十分配慮するとともに、民間事業者等との連携、蓬莱橋周辺と一体となった水辺整備により賑わいある水辺空間を創出する。

整備内容

・蓬莱橋を拠点とした河川空間の魅力が向上し、より多くの人が利用ができるように、左岸（島田駅側）では休憩施設の整備、番小屋のリニューアル、木陰の散策路等の整備を、右岸（牧之原台地側）では橋詰めから高水敷に降りるための坂路や散策路、河川敷のオープンスペース等の整備を行う。



左岸(島田駅側)の整備内容
（かわまちづくり計画）



右岸(牧之原台地側)の整備内容
（かわまちづくり計画）

整備前







整備後







3. 計画内容と事業の投資効果

再評価

事業の投資効果

・魅力や拠点性が向上した蓬莱橋と大井川沿いに存在するまちなかの観光拠点等を連携することにより、来訪者を地域全体でおもてなしし、島田市の活性化に貢献する。
・左岸側（島田駅側）では、休憩･物販施設（蓬莱橋897.4茶屋）を併設した番小屋のリニューアル、坂路、駐車場、親水護岸等が整備（R3年度完了）され、蓬莱橋ぼんぼり祭りといったイベント等、多くの人に利用されている。
・右岸側（牧之原台地側）では、高水敷の整正や坂路、休憩施設、トイレ等の整備により、高水敷や水辺へのアクセス性が向上することで、休憩や水辺に親しむ活動等の利用増加が期待されている。

拠点の連携イメージ



大井川を軸とした拠点ネットワーク

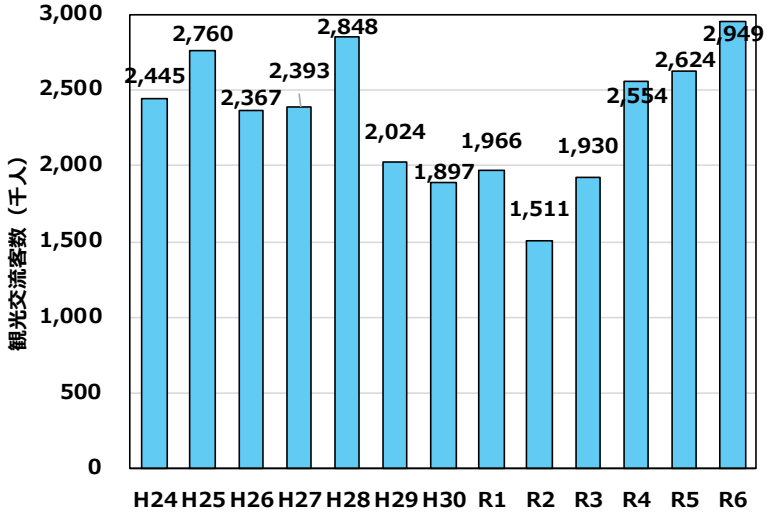
利用状況



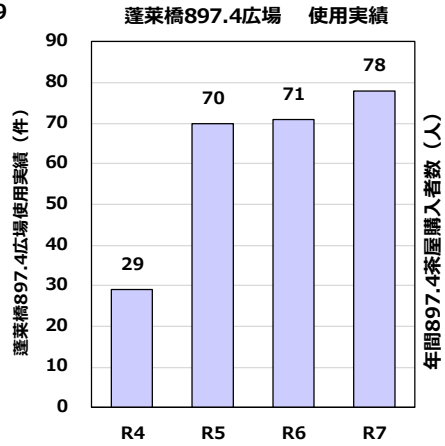
整備箇所の利用状況（イベント広場の活用）



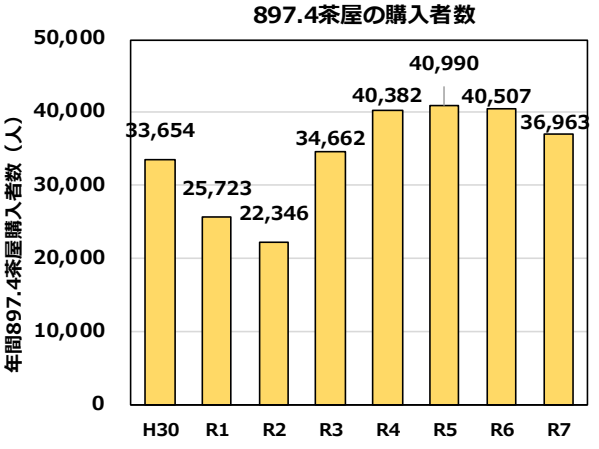
蓬莱橋の利用状況（蓬莱橋ぼんぼり祭り）



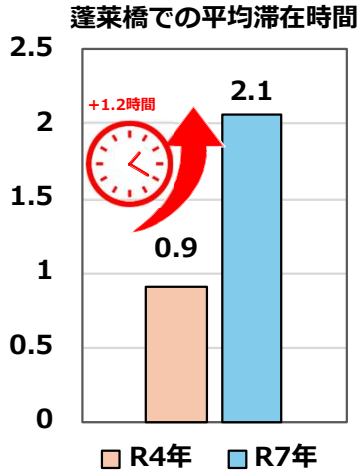
島田市観光交流客数
※静岡県観光交流の動向より作成



897.4広場（左岸イベント広場）の使用実績
※島田市提供データより作成



897.4茶屋の年間購入者数
※島田市提供データより作成

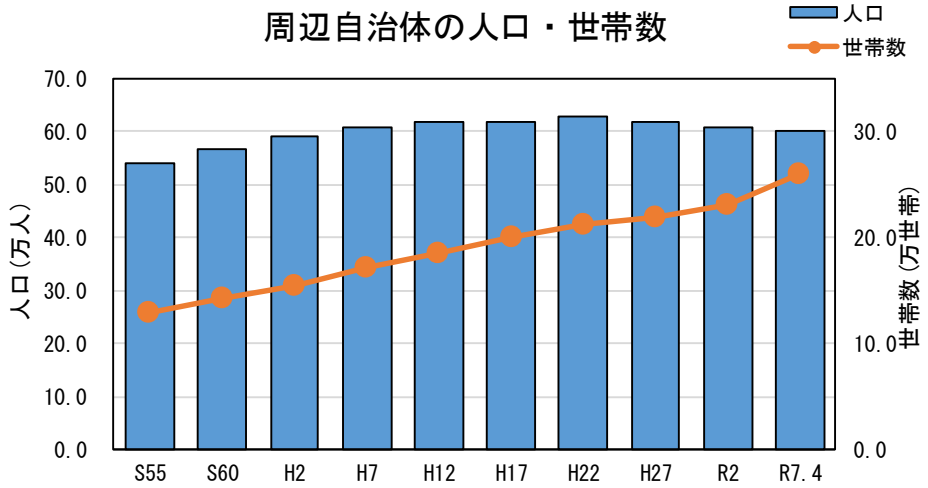


蓬莱橋左岸の平均滞在時間
※周遊性アンケート調査結果より作成

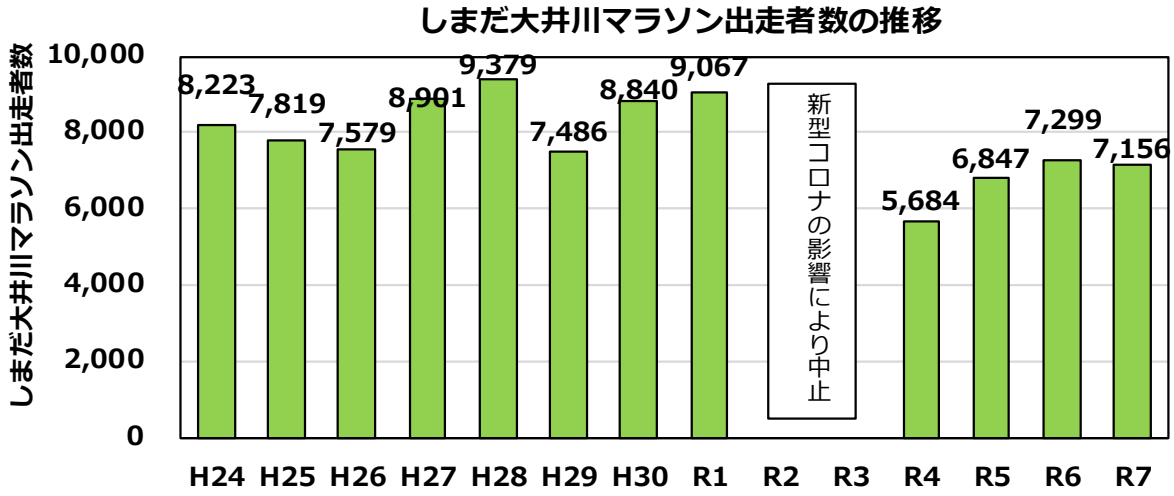
4. 評価の視点
(1)事業の必要性等に関する視点
1)事業を巡る社会経済情勢等の変化

再評価

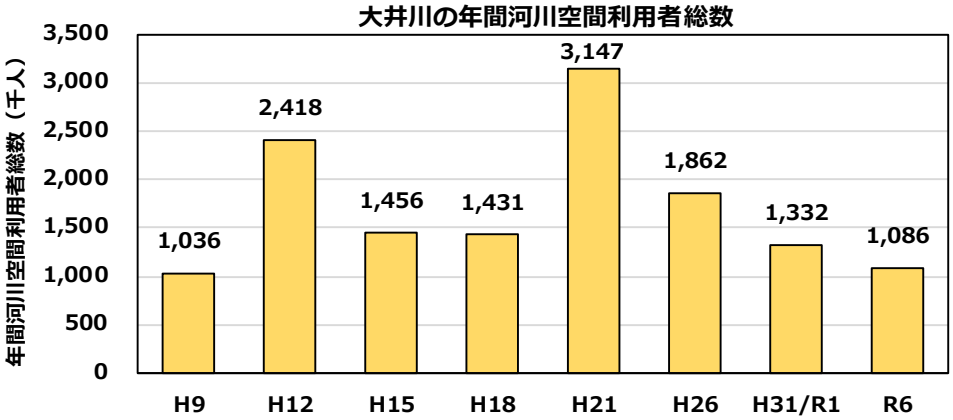
・宝来地区周辺自治体の人口及び世帯数は、R7年4月時点の住民基本台帳より人口約60万人と近年微減傾向にあるが、世帯数は約26万世帯と増加傾向にある。
・大井川では各種イベントが行われており、蓬莱橋では初夏に「ぼんぼり祭り」が開催されるほか、河川敷を走る「しまだ大井川マラソンinリバティ」ではR6年以降、7千人を超える出走がある。また、R6年における大井川の河川空間利用者数は、年間推計108.6万人程度である。



出典:S55～R2国勢調査結果　R7.4静岡県人口推計(R7.4時点)
周辺自治体:島田市・焼津市・掛川市・藤枝市・菊川市・牧之原市・吉田町
※10km圏に位置する自治体



出典:島田市提供資料



出典:河川水辺の国勢調査 河川空間利用実態調査結果より作成

▽河川利用に関する住民の関心の高まり



しまだ大井川マラソンinリバティー
(出典:しまだ大井川マラソンinリバティHP)

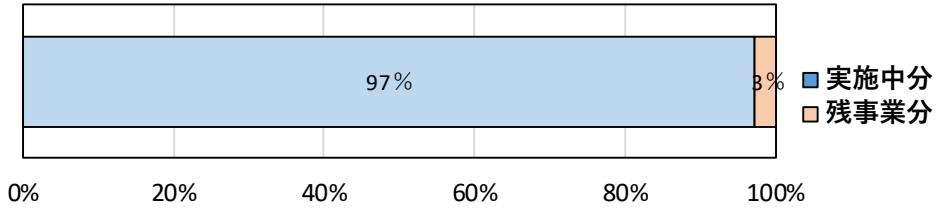


夕涼み会(保育園行事)

再評価

宝来地区水辺整備事業【継続】

・進捗率は令和8年度末事業費ベースで約97%
・令和3年度までに左岸側の整備が完了
・令和8年度までに右岸側の整備が完了予定
（国の基盤整備は令和5年度までに完了）
・令和10年度まで事業効果のモニタリングを実施する

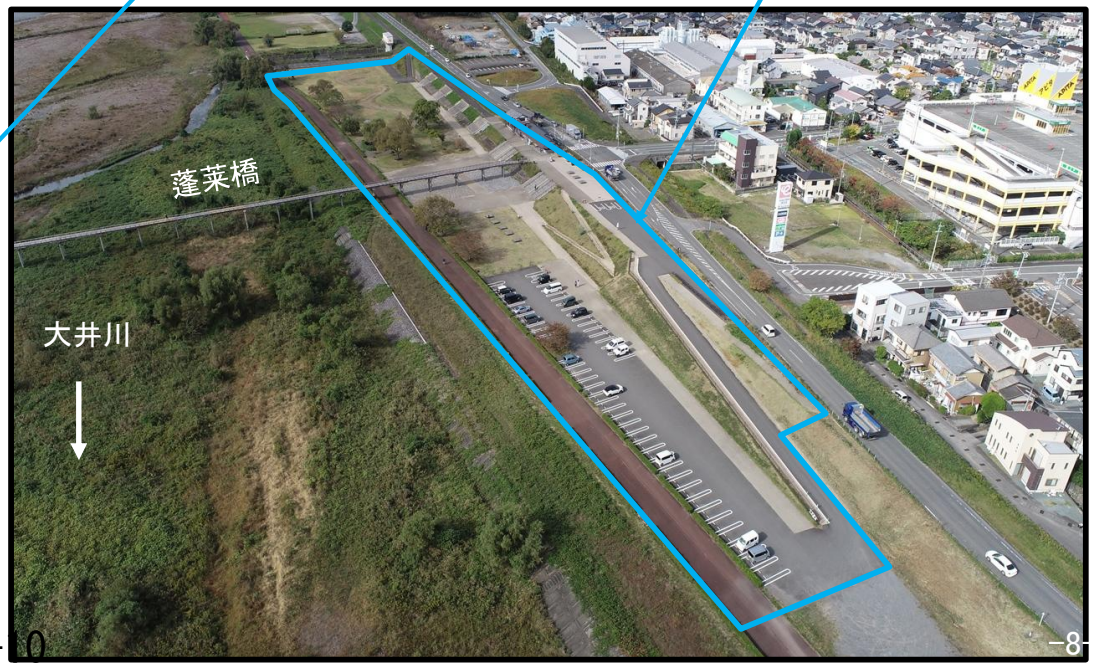


- 全体事業費　　：1,033百万円（※前回評価時：1,025百万円）
  令和８年度末見込み：1,006百万円（国：673百万円 市：333百万円）
  残事業費　　：　27百万円（国：　27百万円 市：無し）
  （※労務単価の上昇によりモニタリング費用を増額）





R8.4撮影（整備中の状況）



(2)費用対効果分析
1)費用便益分析

再評価

・費用対効果分析実施判定票の全ての項目に該当することから、費用対効果分析を実施しない。

項　目	判　定	
	判断根拠	チェック欄
(ア)前回評価時において実施した費用対効果分析の要因に変化が見られない場合		
事業目的		
・事業目的に変更がない	事業目的である“観光名所である蓬莱橋を活用した島田市のまちづくりと一体的に、歴史や景観に配慮しながら「観光・交流」「にぎわい」「憩いの場」を創出する”に変更がない。	■
外的要因		
・事業を巡る社会経済情勢の変化がない **判断根拠例[地元情勢等の変化がない]**	人口、土地利用状況に大きな変化がない。	■
内的要因＜費用便益分析関係＞ ※ただし、有識者等の意見に基づいて、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる。 注)なお、下記2.～4.について、各項目が目安の範囲内であっても、複数の要因の変化によって、基準値を下回ることが想定される場合には、費用対効果分析を実施する。		
1. 費用便益分析マニュアルの変更がない **判断根拠例[B／Cの算定方法に変更がない]**	費用便益分析マニュアル(「河川に係る環境整備の経済評価の手引き」)が、R6.4に一部改訂となっているが、B/Cの算定手法に変更はない。	■
2. 需要量等の変更がない **判断根拠例[需要量等の減少が10%※以内]**	【需要等の減少が10%以内】 今回世帯数　119,618世帯(前回＋9,487世帯) 前回世帯数110,131世帯 変化率＋8.6%(増)	■
3. 事業費の変化 **判断根拠例[事 業 費の増加が10%※以内]**	【事業量の増加が10%以内】 今回の事業費　1,033百万円(前回+8百万円) 前回事業費1,025百万円 変化率+0.8%(増)	■
4. 事業展開の変化 **判断根拠例[事業期間の延長が10%※以内]**	【事業期間の延長が10%以内】 今回事業期間12年 前回事業期間12年 変化率0%(増減なし)	■
(イ)費用対効果分析を実施することが効率的でないと判断できる場合		
・事業規模に比して費用対効果分析に要する費用が大きい **判断根拠例[直近3カ年の事業費の平均に対する分析費用1%以上]** または、前回評価時の感度分析における下位ケース値が基準値を上回っている。	前回評価時の感度分析(残事業費、年便益、残工期)における下位ケース値が基準値【B／C=1.0】を上回っている。 【前回評価時の感度分析下位ケース】 事業全体のB/C　残事業のB/C 残事業費(＋10%)　6.5　5.7 便　益　(－10%)　6.0　5.5 残工期　(＋10%)　6.7　6.0	■
前回評価で費用対効果分析を実施している	前回実施　令和3年度　事業全体のB/C ＝6.7 【参考:(社会的割引率2%　9.2)、(社会的割引率1%　10.9)】 残事業のB/C　＝6.1 【参考:(社会的割引率2%　8.4)、(社会的割引率1%　9.9)】 注)費用には工事諸費を含む	■
以上より、費用対効果分析を実施しないものとする。		

(3)事業の進捗の見込みの視点

再評価

・宝来地区水辺整備は、「大井川宝来地区かわまちづくり」および「大井川蓬莱橋右岸かわまちづくり」に基づき、まちと水辺が一体となった魅力ある空間作りの整備を進めている。また、島田市大井川ミズベリング協議会等と連携したモニタリングを実施し、R10年度の完成を目指している。





島田市大井川ミズベリング協議会(左)と蓬莱橋右岸利活用検討部会(右)の様子





蓬莱橋で実施されているイベント

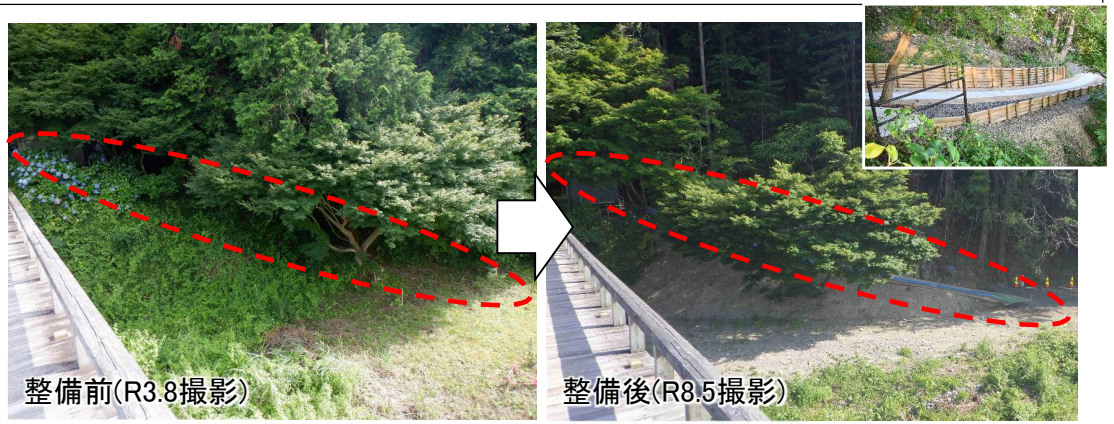
(4)主たる施設の構造等に関する事業手法や事業計画、コスト縮減や代替案立案等の改善の視点

再評価

・総合水系環境整備事業計画について前回評価時から変更しない。
・基盤整備における周辺土砂の活用、散策路整備における既存の小径を活用などのコスト縮減を図るとともに、今後も事業の効率的な推進に努める。



周辺土砂を活用して基盤整備した親水護岸



既存の小径を活用した散策路整備

5. 県への意見聴取結果

再評価

■（静岡県）

対応方針（原案）について、異存はありません。

大井川総合水系環境整備事業による蓬莱橋を中心とした拠点整備は、地域と一体となった水辺整備により賑わいのある水辺空間の形成に期待されております。今後も、大井川の魅力の向上や地域の活性化が図られるよう、島田市に対する支援・協力をお願いするとともに、関係施設の適正な維持管理をお願いいたします。

6. 対応方針（原案）

再評価

■当該事業は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点、主たる施設の構造等に関する事業手法や事業計画、コスト縮減、代替案立案等の改善の視点から「継続」が妥当であると考える。

令和8年度　第1回　大井川水系流域委員会における大井川総合水系環境整備事業の事業再評価の審議結果

◆「令和8年度 第1回 大井川水系流域委員会」において、大井川総合水系環境整備事業の事業再評価について審議を行い、「継続」とする対応方針（原案）が了承されました。

◆委員から頂いた主なご意見は、以下のとおりです。

令和8年度　第1回　大井川水系流域委員会

【開催日】

令和８年１０月１５日（木）13:00～17:15

【開催場所】

静岡県男女共同参画センター あざれあ　505会議室

【主な議事】

・大井川総合水系環境整備事業の事業再評価（原案）

・大井川水系河川整備計画の点検


委員会開催状況


現地視察状況


委員長あいさつ

＜主なご意見＞

■対応方針（原案）を了承する。

■大井川蓬莱橋右岸かわまちづくりの整備箇所については、蓬莱橋を渡らなければ利用できないという特徴がある。この特徴を肯定的に捉え、様々な試行や工夫を通じてターゲットやニーズを把握し、施設の強みを活かした利用・活用方策の検討を進めていただきたい。

■また、左岸から蓬莱橋を渡った来訪者が右岸地区を周遊できるよう、史跡巡りなどの散策ルートを設定・紹介するなど、地域の魅力を活かした回遊性向上や右岸地区の活性化方策についても検討されたい。